

# 「地域企業を元気にしたい!」 3年ぶりに「売上アップ祭り」開催

「地域を元気にしたい!」を目的に、2016年より(株)イワサキ経営(静岡・沼津市、代表取締役社長=吉川正明氏)と(株)アーティスティックス(同、代表取締役社長=長岡善章氏)が共同で開催している「売上アップ祭り」。去年はデジタルの日にちなみ「DX祭り」の開催となったが、このたび3年ぶりに「売上アップ祭り」が復活。オンライン&オフラインのハイブリッド型の展示会・交流会を10月18日、地元沼津市の「プラサヴェルデコンベンションホールA」で開催した。

イベントは、静岡県内の中小企業の売上アップをテーマとし、事例紹介や商品展示を通じて、来場者には情報や知識の収集と共に、参加者同士の交流を深めてもらうことを目的としている。「祭りの雰囲気を持たせたステージという場の提供で、それが地域の活性化に繋がれば」(吉川社長)。

このイベントにはルールがある。出展企業は自社商品やサービスを売り込むのではなく、「あくまでも参加者の売上アップに貢献できるための“もてなし”というスタンスで接して欲しい」(同氏)。今回は15社ほどのブース出展があり、マーケティング、DX、SDGs、エネルギー、電子契約、顧客管理といったバックオフィス系など、様々な方向から売上アップのための情報が提供された。中には「美颜鍼で売上アップ!」という実演コーナーも。



▲ハッピー姿の吉川氏(中央)と長岡氏(右)

また、展示スペース内にミニセミナーコーナーを設け、1社15分程度で売上アップに役立つ情報を含めたブース紹介を行うなど、新たな取り組みも実施。オンライン参加者がその動画を、テレビを観るような感覚でテンポよく視聴できる企画・演出で、リアル会場の雰囲気を上手く伝えた。ブース出展したイワサキ経営では、これまでと同様に、全員ハッピー姿で税金だけでなくDXの支援、また新規事業であるメディア制作事業「イワサキスタジオ」などをアピール、お祭りのムードメーカーとしての役割を果たした。

来年、創立50周年を迎えるイワサキ経営では、記念イベントを7月と11月に開く予定で、顧問先の経営の立て直しに真正面から取り組む。「今後も地域企業へのサポートを通じて、会社の成長に役立つ支援を展開していきたい。売上アップ祭りも、さらにブラッシュアップさせていく」(同氏)と意気込む。